

「協定校との第 12 回オンライン言語交流プログラム（レジャイナ大学）を実施しました」

【内容】

国際センターでは1月26日（水）に本学協定校であるレジャイナ大学（カナダ）と第12回オンライン言語交流プログラムを実施しました。本プログラムは Language Exchange（言語交流）をテーマに、学生の語学力向上およびコロナ禍によって減少した国際交流の場を提供する事を目的に一昨年10月より実施されています。

第12回目となった今回は、本学より派遣交換留学予定の学生を含む9名、レジャイナ大学の学生9名と職員2名、計20名が参加しました。

プログラム当日は、両大学関係者による挨拶から和やかな雰囲気始まり、その後、両大学の学生より、それぞれの大学及び大学所在地（神奈川県横浜市、サスカチュワン州レジャイナ）について英語でプレゼンテーションが行われました。その後、1グループあたり4～5人に分かれ、アイスブレイクとしてそれぞれの学生が用意した好きなお菓子についての紹介を行った後、お互いの言語や文化、生活様式等の様々な質問・トピックについて英語と日本語を用いて話し、積極的に異文化交流を楽しんでいました。

プログラム後に回収したアンケートでは、多くの参加者全員が「とても楽しかった」もしくは「楽しかった」と回答しました。本学の学生からは「カナダの文化について詳しく知ることができたことがよかった。また、レジャイナ大学の学生と共通の趣味について語れたことがとても楽しかった。」という声や、「レジャイナ大学について、よく知ることができ、カナダに行ってみたいと思えました。」といった感想が挙がり、レジャイナ大学の学生からは「神奈川大学生との会話は面白く、他国の学生の経験や日本について知る良い機会だった。」といったコメントがありました。

コロナ禍により大きく減少している国際交流の機会ですが、国際センターでは引き続き協定校との言語交流プログラムを実施する予定です。是非このような機会を利用して、派遣交換留学先選択の参考にする等、今後活かしてもらえることを期待しています。

